

コロナに負けない体づくりを「トマト」を食べて、免疫力アップ！ 大玉トマト & ミニトマト出荷盛ん



西尾市では、春を迎えて海岸近くのミネラル豊富な土壌を活かした
「大玉トマト」と「ミニトマト」の生産がピークを迎えています。

出荷場のJA西三河吉田トマト選果場では、多い日に1日で大玉約3.3トン、ミニトマト約1トンを出荷。5月は年間を通じて一番出荷量が増える時期で、この1ヶ月で約69トン(大玉53.4トン、ミニ15.6トン)と全体の約2割を出荷します。

市内の大玉トマト・ミニトマト生産者を中心に組織するJA西三河トマト部会では、昨年10月より大玉トマト「桃太郎」、11月より房取り完熟ミニトマト「赤美味(あかうま)」の出荷を行い、高糖度のトマトを届けています。



ビタミンCなど健康にうれしい成分を豊富に含むトマト。
旬を味わいながら、おいしく免疫力をアップしましょう！！



← JA選果場での出荷作業 (上：ミニトマト、下：大玉トマト)

■取材対応日■

【日時】5月27日(水)

(収穫風景) 午前8時55分集合

(選果風景) 午前10時30分集合

【集合】JA西三河 吉田トマト選果場

(西尾市吉良町吉田新浜1-90)

※吉田トマト選果場へ集合後、
収穫を行っている農家のハウスへご案内します

取材先農家：天野正巳さん(吉良町)

※選果場での集出荷のようすは、同日の10時30分頃より
吉田トマト選果場で対応します。

※取材を希望される報道機関の方は、JA西三河企画課
の尾形までご連絡ください。

■今年の作柄 (5月18日現在)

今年は定植時期が暑すぎたため根の張りが悪く、例年に比べて収量は若干少ないですが、例年同様、高糖度のおいしいトマトができています。引き続き、7月上旬まで出荷が続く見込みです。



【お問い合わせ・ご連絡先】

JA西三河(西三河農業協同組合)

〒445-0073 愛知県西尾市寄住町下田15 企画室企画課 広報担当：尾形怜美

TEL：0563-56-5214 担当者携帯：070-1414-6818

HP：http://www.ja-nishimikawa.or.jp/ Eメール：kikaku@ja-nishimikawa.com

※ このニュースリリースは、西尾市の記者室在籍報道機関に発出しています。
また、同内容をJA西三河ホームページの「報道機関向け資料(ニュースリリース)」ページにも掲載しています。

西三河地域
特有の

塩分とミネラル豊富な土壌を活かした トマトづくり



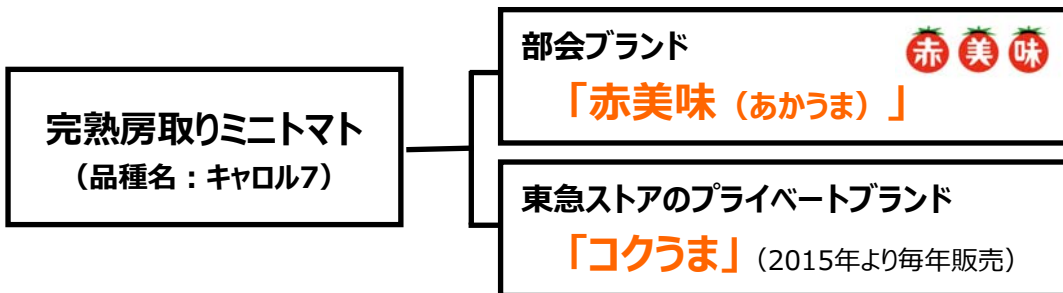
西尾市の吉良地区は海が近いことから、塩分・ミネラル豊富な土壌が特徴。当産地では、その土を活かした『土耕栽培』によって、おいしいトマトを生産しています。


水耕栽培に比べて **「トマト本来の味が濃く、** 取引市場からも高い評価をいただいています。

ミニトマトは2つのブランドがあります

西尾市で生産するミニトマトは **「完熟房取りミニトマト」といって、房ごと全体を完熟させてから収穫するため、『完熟性』と『新鮮感』が高い**と消費者から好評です。
(※通常のミニトマトは赤く実ったものから順に収穫します)

糖度は10度以上!一般的なミニトマトより甘く、深いコクが特徴です。また房付きでパック詰めされているため、**自宅で気軽に収穫気分を味わったり、食農教育として子どもにトマトの実り方を教えてあげることも◎!**



 「赤美味」を原料としたトマトジュースを作り、6次化にも力を入れています!!

【生産者部会情報】

名称：JA西三河トマト部会
組合員数：12人（大玉トマト生産9人、ミニトマト生産4人）
耕作面積：約406㍏ 収穫期：10月～7月上旬
品種：大玉「桃太郎」、ミニトマト「キャロル7」
流通先：大玉…愛知県内、関東方面
ミニトマト…関東方面（※うち4割が東急ストア）、愛知県、北陸方面など
出荷実績：大玉トマト約360㍏、ミニトマト約90㍏（2018年度）